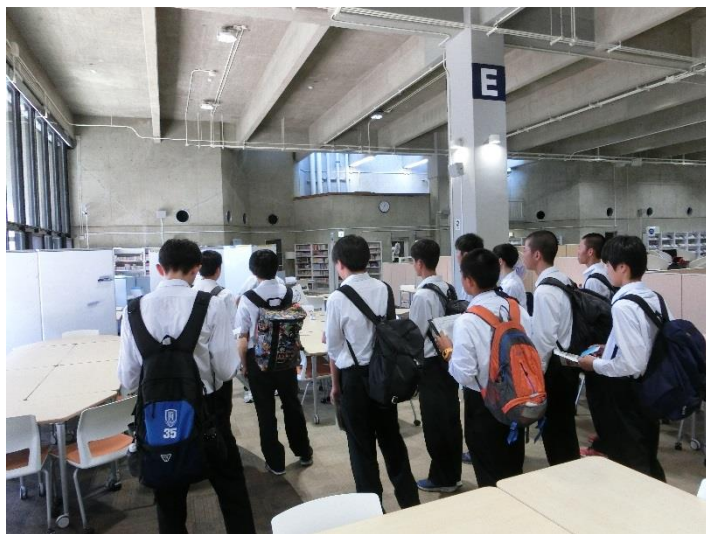


1 学年 科学リテラシー研修（宮城県）

9月5～6日に科学リテラシー研修が行われ、東北大学と被災地を訪問しました。

東北大学では、文系希望者は文学部の先生による模擬講義と図書館見学、理系希望者は工学部材料科学総合学科の先生による模擬講義と各学科に分かれての研究室見学を体験しました。

東北大学は今年6月に世界最高水準の教育研究活動機関として文部科学省から「指定国立大学」に指定されており、本校の卒業生の進路先としても人気の高い大学とあって、1年生が今後進路を考える上で大いに参考になりました。



また、2011年3月に起こった東日本大震災の被災地見学では南三陸町と名取市閑上地区を訪れました。最大震度7、マグニチュード9.0という数字だけでは想像もつかない被害をボランティアガイドの方の説明で知ることができました。当たり前で過ごしていた日常が一瞬にしてなくなってしまった絶望感や生死を分けた行動・判断など、つらい経験を話す様子から「語り継ぐ使命」を感じ、それを受け、私たちは将来社会にどう貢献していく人物となるのかを考えさせられる研修となりました。



2 学年 SSH事業実施状況

○ 8月29日にはクロスカリキュラム授業第2弾として数学と物理を融合した授業が実施されました。物理の現象を、物理ではなく数学の知識を使って解析する、というもので、数学の池永先生と物理の中島先生とのコラボレーションで行われました。



○ 9月5日～7日に2学年全体で先端科学研修（SSHクラス）・企業研究所大学訪問研修（2年2組～8組）が行われました。SSHクラスは、SSH活動の先端科学研修として参加し、科学の最先端を垣間見るだけでなく、課題研究で学んだPDCAサイクルを実践しました。主な研修先は、京都大学ウィルス研究所、大阪大学医学部付属病院、筑波宇宙センター、理化学研究所などで、生徒の進路意識を高め、プロジェクトの立ち上げから実践及び振り返りまでの一連のプロセスを学ぶことのできた有意義な研修となりました。

○ ディベート講座Ⅱとして、2年1組と8組で英語ディベートに取り組んでいます。全4回で10月には1組対8組のクラス対抗で校内ディベート大会を行う予定です。9月14日には県立女子大学外国語教育研究所の外国人研究員3名の先生に、立論作成や意見を主張する際の注意点などについて英語で講義をしていただきました。



スーパーサイエンス部の課外活動

○ 8月1日「岩崎教授を囲む会」 渋川出身で東工大からアメリカに大学院留学し、現在 UCLA 教授である岩崎徹也先生が来校され、6名!の希望者（SSHクラス2、3年生と1年生）のために、貴重なお話をしてくださいました。当時の彼女（今の奥様）のすすめで留学を決意されたお話や、大学院留学には大学での成績が大変重要である、英語の上手下手よりも話す内容が重要だが、英語ができないと米国社会にうまく受け入れられないという厳しい現実も経験された、というように若い高生には大変参考になるお話ばかりでした。



○ 8月12～13日に、スーパーサイエンス部の部員のうち、主に2年1組の生徒・3年1組の希望生徒がSSHのOBと共同で実施するサイエンスキャンプに参加しました。1日目から2日目にかけてOBの推薦図書を読み、内容をOB講師へ説明する輪読ゼミを実施し、2日目にはOBの講演会、OBとの談話会、研修医によるパネルディスカッション、輪読ゼミ成果発表会を実施しました。SSHのOBの先輩方に直接指導してもらうことで、科学的思考力・表現力のトレーニングや将来の進路、課題研究の相談等ができ、充実したキャンプになりました。



SSHに関わる活動 in SUMMER

○ 物理チャレンジ 2017

3年2組の渡邊凌矢君が第一チャレンジを突破し、8月19～22日に岡山県青少年センターで行われた第二チャレンジまで進出しました。

○ 化学グランプリ 2017

3年生3名が一次選考に挑戦しました。惜しくも上位5%を逃し、二次選考への進出はなりませんでした。2名が関東支部奨励賞を受賞しました!

○ 日本生物学オリンピック 2017

3年生6名が一次予選に挑戦しましたが、残念ながら二次選考への進出はなりませんでした。